

地域IX？それとも拠点IX？ ～地域ISPからみた福岡IXへの期待～

JANOG49@鹿児島 2022年1月26日 CTBメディア株式会社 早田秀康

◆自己紹介

- ・名前 : 早田 秀康(ハヤタ ヒデヤス) 1978年生まれ
- ・所属 : 技術部技術課
- ・業務 : 通信設備の運用保守やエンドユーザー対応、
社内のヘルプデスクなど技術に係る事を全般的に対応
- ・休日の過ごし方:
子供の野球の付き添い
- ・JANOG歴:
JANOG33@別府 初参加
プログラム登壇は今回初めて

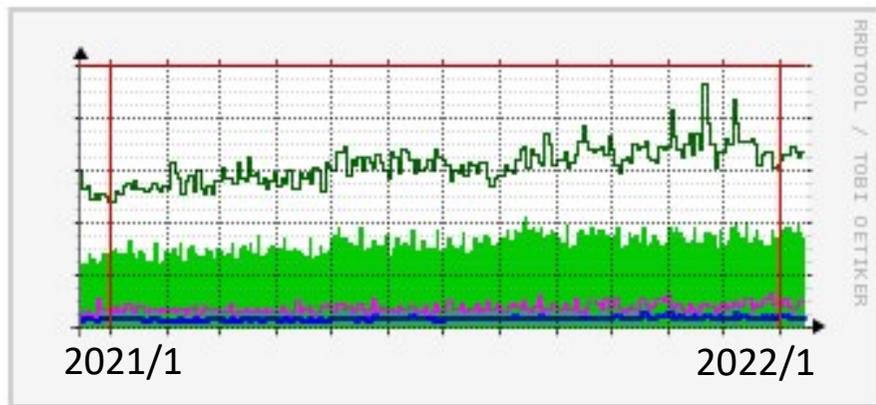


◆会社概要

- 会社名 : CTBメディア株式会社(AS23780)
- 所在地 : 大分県別府市
- サービスエリア : 別府市、日出町(総世帯数: 73,000世帯)
- 主なサービス : 放送、インターネット、ケーブル電話、MVNO
(2015年 光サービス開始
2021年 10ギガプラン提供開始)
- 加入者 : 接続数 50,000世帯(内インターネット契約 10,000世帯)



◆トラフィックについて①



トラフィックは右肩あがり
(1年で+40%増加)
FTTHへの移行が進むほど、トラフィックが
加算されていくような状態

IX・トランジットのトラフィック比率

IX 80%

トランジット
20%

東京・大阪のトラフィック比率

大阪 75%

東京
25%

◆トラフィックについて②

当日スライドのみ



◆ネットワーク構成

当日スライドのみ



◆大分県について

●大分は九州の東の玄関口



◆大分県のインターネット事情

固定系ブロードバンド利用可能世帯率: 99.6% (99.6%)

(※FTTH、下り30Mbps以上のCATVインターネット及びFWA)

FTTH利用可能世帯率: 95.6% (99.1%)

固定系ブロードバンド回線利用率: 72.9% (74.8%)

CATV回線: 31.6% (16.2%)

FTTH回線: 40.9% (56.4%)

DSL回線: 2.0% (3.0%)

ケーブルテレビ普及率: 70.0% (52.4%)

★大分県下のケーブルテレビ局でFTTH化が進行中
(CTBでは70%くらいの加入者がFTTHに移行済み)

※2020年の通信利用動向調査より カッコ()内は全国

◆福岡IXに期待する事

★バックボーン拠点の強靱化

複数拠点での分散化

- ・せっかくなので、同じ地域内(九州内)にも拠点が欲しい

★ネットワーク品質の向上

低遅延・大容量

・低遅延

東京 20ms > 大阪 10ms > 福岡 5ms

・大容量

40G、100Gといった今後のバックボーン回線容量への対応

東京、大阪100Gよりも福岡100Gの方が低コスト(であってほしい)

★その他

CDNキャッシュ

- ・自局に設備を置くのは厳しいので、近場の拠点においてほしい

GIGA スクールや地域 DX

- ・県内、圏内のトラフィックを近場の拠点でまわしたい

